

Racing Topics

★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

●スプリンターズSでウインカーネリアンがG I 初制覇を果たす

9月28日(日)に行われたスプリンターズS(G I)ではウインカーネリアン(牡8歳/美浦・鹿戸雄一厩舎)が優勝、G I 初制覇を果たしました。8歳馬の同レース勝利は2010年のウルトラファンタジー(香港)以来史上2頭目で、日本調教馬としては初。鞍上の三浦皇成騎手(美浦・鹿戸雄一厩舎)にとっても、127回目の挑戦で初めて掴んだJRAのG I勝利となりました。

●高杉吏麒騎手がJRA通算100勝を達成

9月27日(土)の4回阪神8日・第12レースではタカネノハナコサンが1着となり、同馬に騎乗した高杉吏麒騎手(栗東・藤岡健一厩舎)は、現役90人目となるJRA通算100勝(1056戦目)を達成しました。

●和田竜二騎手がJRA通算2万2000回騎乗を達成

9月27日(土)の4回阪神8日・第5レースでオグナに騎乗した和田竜二騎手(栗東・フリー)は、この騎乗で史上4人目・現役4人目となるJRA通算2万2000回騎乗を達成しました。

●斉藤崇史調教師がJRA通算300勝を達成

9月27日(土)の4回阪神8日・第3レースではフォーゲルが1着となり、同馬を管理する斉藤崇史調教師(栗東)は、現役69人目となるJRA通算300勝(延べ2542頭目)を達成しました。

●宮崎北斗騎手が引退

宮崎北斗騎手(美浦・フリー)から騎手免許の取消申請があり、9月29日(月)付で騎手免許が取り消され、引退しました。JRA通算成績は5015戦181勝でした。

★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

●フォーエバーヤングが日本テレビ盃で単勝1.1倍の支持に応える

日本テレビ盃(JpnII、10月1日、船橋、1,800m)は、5番手から差を詰めたフォーエバーヤング(坂井瑠星騎手、牡4歳、父リアルスティール)が直線に入って間もなく抜け出し、2番人気のレヴォントゥレットに2馬身半差を付けて完勝。3番人気のキングズソードは4着、マーブルロックは7着に敗れています。

●白山大賞典(金沢)で中9日のジャスパーロブストが重賞初制覇

白山大賞典(JpnIII、9月30日、金沢、2,100m)は、先手を取った3番人気のジャスパーロブスト(丸山元気騎手、騊4歳、父コザン)がディープリボンを1馬身抑えて優勝。1番人気のカズタンジャーは更に6馬身遅れの3着、2番人気のシンメダージー(高知)は4着、メイショウフンジン(高知)は5着、ビューキアン(高知)は6着でした。

●初の三冠達成なるか、ジャパンドアートクラシックのナチュラルライズ

ジャパンドアートクラシック(JpnI、3歳、10月8日、大井、2,000m)は、体系整備2年目で初のダート三冠達成を目指すナチュラルライズに、海外遠征帰りのルクソールカフェとアドマイヤデイトナ、前哨戦を制したナルカミとドンインザムードが挑む構図で、クレーキング、ハグも大きな差はありません。

●テンカジョウらが参戦、10月7日のレディスプレリユード

レディスプレリユード(JpnII、10月7日、大井、1,800m)は、牝馬路線で堅実なテンカジョウが最有力、JpnI馬アンモシエラ、フェブランシェ(大井)、タクシンイメル、バスタードサフランが続き、ビヨンドザヴァレーは初のダートが課題となりそうです。

●10月9日の東京盃(大井)で重賞連勝を狙うサンライズアムール

東京盃(JpnII、10月9日、大井、1,200m)は、前走のクラスターCを制したサンライズアムールが中心、以下3歳馬ヤマニンチェルキ、ドンアミティエ、クロジシジョー、コンティノアール、エンテレキア(浦和)、イグザルト(大井)の順に有力視されます。

★海外競馬ニュース 文・秋山響★

●G1ジョーハーシューターフクラシックS〜レベルスロマンスがG1・9勝目

現地9月27日にアメリカ・ニューヨーク州のアクダクト競馬場で行われたG1ジョーハーシューターフクラシックS(3歳上、芝2,400m)はL.デットーリ騎手を背に1周目のスタンド前の直線で先頭に立ったレベルスロマンス(騊7歳、父ドパウイ、英C.アップルビー厩舎)がそのまま後続を寄せ付けずに3馬身半差の完勝を収めました。レベルスロマンスはこれで前走のG1ペルリン大賞(芝2,400m)に続く連勝でG1は9勝目。アメリカでは2022年と24年のブリーダーズCターフ(芝2,400m/それぞれキーンランド競馬場とデルマー競馬場)に続く3度目のG1制覇となりました。

●G1グッドウッドS〜ネバダビーチがG1初制覇

9月27日にアメリカ・カリフォルニア州のサンタアニタパーク競馬場で行われたG1グッドウッドS(3歳上、ダート1,800m)はM.スミス騎手が手綱を取ったネバダビーチ(牡3歳、父オマハビーチ、B.バファート厩舎)が逃げた昨年のG1ブリーダーズCダートマイルの勝ち馬フルセラノとの競り合いを制して1馬身半差で優勝しました。勝ったネバダビーチは今年4月にダート1,600m戦でデビュー勝ち。2戦目のアフアームドS(リステッド)は2着でしたが、続く前走6月のロスアラミトスダービー(リステッド、ダート1,800m)を4馬身1/4差で快勝してここに臨んでいました。